

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年12月26日更新

事務事業名		女性・子ども支援事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	健康福祉部	課長名	澤田 勝矢
	施策	4	子育て支援の充実			所属課	女性・子ども支援課	担当者名	坂本みゆき
	施策の柱	18	相談支援体制の充実			所属班	女性・子ども支援班	(内線)	1611
予算科目	会計一般	款3	項1	目16	事業連番11652	根拠法令	児童福祉法 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律	成果優先度評価結果	③
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 27 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	平成27年4月に「女性・子ども支援室」を設置し、女性・子どもに関する相談事業を実施している。その他に、地域の家族見守りサポーター養成講座、ステップアップセミナーの開催及び虐待防止キャンペーン等を実施している。 また、女性・子ども支援協議会や要保護児童対策及びDV防止対策等地域協議会の運営も行っている。 平成28年4月からは「配偶者暴力相談支援センター事業」を行い、被害者(相談者)の負担軽減及び二次被害防止を図っている。 平成29年度には、課長の組織である行政経営推進部会を対象に合志市DV等対策庁内連携推進会議を開催し庁内連携の推進を図った。
【業務の流れ】	女性・子どもに関する相談を受け、相談内容によっては関係機関につなぐ。 地域サポーター養成講座の立案・実施。 ステップアップセミナーの委託業者選定について、公募によるプロポーザルを実施し、応募事業者からのプレゼンテーションにより内容の審査及び評価を行い、選定委員会を開催した後、業務を委託。 虐待防止月間の11月に街頭キャンペーンを行い、チラシ等を配布。
【主な予算費目】	職員手当等(時間外勤務手当)、旅費(費用弁償・普通旅費)、需用費(消耗品費・修繕費・燃料費)、役務費、負担金補助及び交付金、公課費
【意見や要望】	女性・子ども支援協議会からは、関係機関及び庁舎内での連携が必要であるとの意見がある。また、相談機関の周知及び職員の後継者育成が必要であるとの意見がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動)(DO)	女性・子どもに関する相談事業の実施 サポーター養成講座及びステップアップセミナー、虐待防止キャンペーンの実施 支援ネットワークの構築 女性・子ども支援協議会・要保護児童対策及びDV防止対策等地域協議会の運営	30年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 29年度と同様であるが、児童の安全確認等のための体制を強化する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)件 ア:活動件数 イ:サポーター養成講座の受講者数	予算の主な増減の理由 報酬の増(新たに危機管理調整監を1名雇用のため。)負担金の減(母子生活支援施設入所費負担金を実績と緊急性を考慮し当面の必要経費のみを計上。)
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民(女性・子ども)	(単位)人 ア:18歳未満の人口 イ:成人女性の人口	②対象指標(対象の大きさを表す指標) ア:18歳未満の人口 イ:成人女性の人口
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 気軽に相談できる	(単位)人 ア:サポーター登録者数 イ:	③成果指標(意図の達成度を表す指標) ア:サポーター登録者数 イ:
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠 地域での見守りを実施し、気軽に相談できるサポーター登録者を増やし、女性・子ども支援室と連携することにより、身近な地域で話を聴く体制をつくることで、気軽に相談できると考え設定した。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 912

(2)各指標・総事業費の推移		単位	27年度 実績(決算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	31年度 予定	32年度 見込	33年度 見込	
① 活動指標	ア 件		3,749	4,051	4,100	4,767	4,500	4,500	4,500	4,500	
	イ 人		32	12	30	19	30	30	30	30	
② 対象指標	ア 人		12,818	13,115	13,400	13,318	13,500	13,600	13,500	13,550	
	イ 人		24,382	25,219	25,400	24,868	25,600	25,800	25,900	26,000	
③ 成果指標	ア 人		8	7	20	14	20	25	25	30	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円			3,065	5,391	5,330	5,330	5,330	5,330
		都道府県支出金	千円			750		375	375	375	375
		地方債	千円								
		その他	千円			13		6	6	6	6
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	439	1,024	12,731	7,823	11,859	11,859	11,859	11,859
		(A)のうち指定経費	千円	439	1,024	16,559	13,214	17,570	17,570	17,570	17,570
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
			千円	258	792	0	0	0	880	880	880
		正規職員従事人数	人	2	3	5	5	5	5	5	5
(B)人件費計	延べ業務時間	時間	480	390	6,600	6,091	6,600	6,600	6,600	6,600	
		千円	1,782	0	26,294	24,095	26,294	26,294	26,294	26,294	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,221	1,024	42,853	37,309	43,864	43,864	43,864	43,864	

事務事業名	女性・子ども支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	女性・子ども支援課
-------	------------	-----	-------	-----	-----------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 サポーター養成講座の実施時期（11月～2月）が計画よりずれ込み地域の拠点を作ることができなかった。
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 相談できる場所として認知されてきており相談件数、サポーター養成講座の受講者ともに達成できる見込みである。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 身近な相談場所として認知されてきており、相談件数も増加している。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 相談内容は様々であり、それぞれの相談内容に応じた知識が必要になり統廃合は難しい。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 資質向上の研修費や公用車の燃料費等のみの事業費であり削減余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 時間外の緊急対応等があり削減できない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 誰でも相談できる窓口であり公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 行政の手続きや制度についての知識も必要である。また、必要に応じて他団体と連携を図っており役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

新たに相談窓口を設置したことにより職員もより深く相談者に関わることができるようになった。体制が充実したことにより相談件数も増加している。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input checked="" type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>児童の見守り体制強化については、サポーター養成及び拠点整備も含めて、再度計画を立て、方向性を再構築する必要がある。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <p>児童等の見守り体制整備のためには、サポーター養成の促進のために、養成講座の時間帯により参加できない人もいることから、夜間の開催を検討する。 また、多様化・重篤化する相談ケースも増加しているため、職員の資質向上、専門職の確保について相談体制の充実を図る必要がある。</p>																						